

科学館の夏がはじまる

姫路市内の小学5年生は、4泊5日の自然学校を体験します。その中で、出発日の月曜日に姫路科学館へ立ち寄る学校が多くあります。子どもたちはプラネタリウムで星空を満喫したあと、市内山田にある藤ノ木山や宍粟市山崎町梯の野外活動センターへと向かいます。また、市内外の保育所や幼稚園の子どもたちも、しまじろうのプラネタリウムを見て、おほしさまの歌を歌い、ニコニコ顔で館を後にしていました。このように、5月6月は団体のお客様が多い月でした。

さて、早くも7月。科学館では、「ゴム・ワン グランプリ」「姫路ロボ・チャレンジ」「科学の屋台村」など、たくさんの催し物がある夏がやってきます。これらは、一人一人の興味に合い、身近な科学に接するよい機会になり、自分の工夫や考えを生かすよいチャンスにもなります。「もっと長く走らせるのにはどうしたらいいんだろう。」「次は～を工夫してやってみよう。」「おもしろそうだな。」など、考えながら取り組む姿は、子どもも大人もはつらつとして見えます。ぜひ、ご参加いただき、科学をもっと好きになっていただきたいと思います。

また、姫路科学館友の会では6月24日(土)に、京都鉄道博物館と京都市青少年科学センターへの研修旅行を無事に終えました。多くの皆様にご参加いただき、ありがとうございました。これから、8月の親子科学工作教室、9月の大人の天文教室と事業が続きます。今後とも、ご支援ご協力をお願いいたします。

(友の会会長 上田倫範)

館長の科学館便り

「♪ほ～、ほ～、ほ～たる来い♪」

今年もこの季節がやってきました。

わらべうたにも謡われるように、その昔は私たちの身の回りのあちらこちらで、当たり前のように見られた初夏の風物詩でした。

最近では、かつて乱舞していたところでもあまり見られなくなり、少なくなったりしたことから、再びホタルを呼び戻そうとする取組も見られます。

姫路科学館では、6月16日から7月10日まで、特別展「夏のむし・ムシ大集合4」を開催しています。会場には、播磨地域に生息するムシたちが大集合します。また、外来生物の紹介もします。

この特別展を通して、私たちは、自然やそこに暮らす生きとしけるものたちとともに過ごし今を生きていることを・・・そして、未来の環境を守るのは、まぎれもなく私たちに委ねられていることを・・・そんなことを通して、生物の多様性や環境問題について考えるきっかけになればと願っています。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

今後とも、より魅力的な姫路科学館となるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくをお願いいたします。

(友の会常任理事 姫路科学館館長 松岡準人)



写真提供：吉岡克己